

# 圧倒的成功なる！

# 4/18 津田沼支部結成大会

## 本部・暴力集団の大会破壊策動17 取場乱入・テロ襲撃の意図を完全に粉碎し、団結署名100%へバク進

3・30動労千葉結成大会を受けて、全支部がそれぞれ結成大会開催へ向けた努力を続けている。津田沼支部は四月一八日、一一支部の先頭を切って「国鉄千葉動力車労働組合津田沼支部結成大会」を開催し、約九〇名の代議員、傍聴者が参加する中で圧倒的成功をかちとった。文字通り、動労千葉の闘いをけん引する支部としての自覚と、動労中央の名をもってする一五〇名の暴力集団の理不尽極まりない暴行によって大会前日に支部長が重傷で入院、八名の執行部が重軽傷を負うという状況の中でかちとられたこの結成大会の意義は限りないものがある。どのような攻撃があろうとも、正しい労働運動を守り抜き、動労大改革運動を成功させ、激動の八〇年代へ向けた戦闘的労働運動の再生をかちとるといふ全組合員の熱気を体現し、新生動労千葉の闘う体制が日、一日と整備されつつあることが満天下に示されたのである。

### 4・17 襲撃を絶対に許さない！ 山下副支部長あいさつ

大会は一四時、大木支部執行委員の開会のことばによって幕を開き、議長に渡辺(検査分科)川口(乗務員分科)両氏を議長団に選出して議事が進められた。

絶対安静を必要とするため大会に参加できなくなった片岡支部長に代って挨拶に立った山下副支部長は自らも負傷している中で、烈々たる決意をこめて大要次のような挨拶を行った。『昨日の津田沼支部に対する暴力集団の実態を見るならば、動労中央はもはや労働組合ではない。今日の津田沼支部結成大会をつぶすことだけを目的に、青竹とパールで武装し、ナップザックに石を詰め込んで問答無用でなぐり込んで来るような労働運動がどこにあるのか、革マルの学生部隊を先頭にとり囲み、青竹で袋たたきにし、倒れば泥靴でけとばし、頭部を石で乱打するという蛮行を行うような「労働組合」が一体どこにあるというのか！特に、このような集団テロ・リンチの現場指揮をとり、直接暴行の先頭に立った神保(本部教育センター)・大久保(前・本部青年部長)・徳永(前・関東青年部長)・清水(東機・書記長)ならびにそれを積極的に指導してきた青木書記長、城石組織部長、今井、石田各中執の責任は重大である。林委員長は責任を明確にすべきだ。』

われわれの前進の前におびえ、あせり、ますます孤立したものをこそ「本部」・暴力集団共の方だ。われわれは国鉄当局・機動隊の積極的承認のもとに行われたこの襲撃に対し、支部執行委員を先頭に、文字通り身体をはって決然と二時間にわたる攻防を闘いぬき、動労千葉の正義と決意を全人

民に告げ知らせた。動労千葉はいかなる脅迫にも暴力にも決して屈しない。そういう決意をこめて、今日の結成大会を片岡支部長をはじめ、全国の仲間と胸を張って報告できるような歴史的な大会として勝ちとっていかう！闘う方針を確認！

山下副支部長の烈々たる挨拶は全参加者の圧倒的拍手によって確認された。

続いて、関川動労千葉委員長、中江前中央本部副委員長、三里塚・芝山連合空港反対同盟・石井武氏からの来賓挨拶を受け、激励のために参加した新小岩、幕張、千葉運転区、勝浦各支部代表者の紹介が行われた。

そして、方針、予算、規約が提案され質疑の後、闘う方針が満場の拍手で確認されていた。

最後に役員選挙を行い片岡支部長以下の現執行部が選出され、代表して山下副支部長から決意表明が行われ、深見執行委員の閉会の挨拶の後、組合歌合唱、団結ガンバローをもって全日程を終った。

### 津田沼支部に続け！

4・17の暴力集団による津田沼支部への卑劣な襲撃の目的はこの支部結成大会の圧倒的成功によって完全に粉碎された。4・17の無法によって全組合員の怒りは沸騰し、団結署名は一挙に進み、団結はますます打ち固められている。

全支部は津田沼支部に続け！ 全ての支部で団結署名を完遂し、結成大会を成功させよう！

**団結署名完遂！  
支部結成大会の成功を！**